

令和5年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	4	小 林 富	12月11日午前
2	6	松 浦 誠	
3	17	宮 内 欣 二	午後
4	1	水 津 和 男	
5	9	佐々木 公 恵	
6	12	関 伸 久	12月12日午前
7	3	岡 崎 隆 志	
8	14	斉 藤 眞 治	午後
9	8	森 田 宗 和	
10	10	美 原 喜 大	
11	5	瀧 口 治 昭	12月13日午前
12	2	浅 井 朗 太	
13	7	村 谷 幸 治	午後
14	11	森 田 哲 弘	
15	13	西 中 忍	

質問順位	1	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 行財政改革を見える化して推進すべきではないか	<p>1. 持続可能な市政運営を目指して2019年4月に「萩市行財政改革推進基本方針」が定められ、同年9月には「萩市行財政改革実施計画」が策定されました。その後、新型コロナウイルスの影響により中断しましたが、本年5月8日には対策本部も廃止されました。</p> <p>現在、給食費無償化など新規施策を展開する一方、自主財源が乏しい本市の状況は変わらず今後、老朽化した施設の維持管理や整備など財政支出も想定されます。</p> <p>以前、行財政改革は事務レベルで実施しているとのことでしたが、重要なのは行財政改革内部で実施、共有するだけでなく目標項目を定め、進捗管理をおこなったうえで効果分析と今後の取組を定めることと思います。</p> <p>行財政改革を見える化して推進することで、例えば現在取り組むデジタル化や省エネなどの費用対効果を検証し、より効果的な施策を立案するEBPMにもつながると考えます。</p> <p>よって、萩市における行財政改革を見える形で再開する検討状況およびどのように行財政改革に取り組んでいくかお聞きします。</p>		
2. 産婦人科および小児科の現状と今後について	<p>1. 萩市では人口減少対策に力を入れていますが、小児・周産期医療は子供を産み育てやすい環境のため欠かすことができません。また、婦人科検診も女性の健康にとって重要であり、欠かすことはできないと感じています。</p> <p>現在、萩医療圏については中核病院の協議をしている旨の報告を受けながらも現時点では具体的なスケジュールは確定しておりませんが、上記についての現状と産婦人科および小児科への対応についてお聞きします。</p>		

<p>3. J R 沿線の利用促進に向けた取組と活性化について</p>	<p>1. 今年度、J R 山陰本線利用促進事業が盛り込まれ周辺自治体等との協議会が発足して情報発信や沿線住民や観光客の利用促進を図ることとされました。一方、6月末から7月にかけての豪雨災害で鉄橋が傾くなどして山陰線の一部区間が不通となったことから山陰線の観光列車「〇〇（まるまる）のはなし」が運休となっています。現在の協議会での検討状況および運休となっている観光列車の再開見通しについてまずお聞きします。</p> <p>また、萩市は鉄道の父といわれる井上勝や時刻表の父といわれる手塚猛昌、そして、再来年2025年には萩駅・東萩駅開業100年を控えています。このようなストーリーとなる歴史を活かしつつ、J R 利用促進および活性化に向けた施策を展開すべきと考えますが、周年を活かした今後の観光施策や駅の利便性や利活用促進に向けた検討施策についてお聞きします。</p>
-------------------------------------	---

質問順位	2	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 障がい者の方の支援について	1. 福祉用具（補装具）について 2. 移動式多機能トイレについて 3. 車いすけん引装置について		
2. 萩城跡地等の整備、維持・管理について	1. 松枯れの対処について 2. 萩城跡地の整備、維持・管理について		

質問順位	3	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 須佐図書館の今後の運営について	1. 須佐図書館の開館時間の検討はどうなったか 2. 24時間開館継続を願う市民の声をどう受け止めるか 3. 図書館の人員体制の充実強化が必要ではないか		
2. (株)たまがわの経営状況について	1. 23年6月議会に提出された(株)たまがわの経営状況の貸借対照表中、流動資産の売掛金、商品が増えているのはなぜですか。流動負債の買掛金が大幅に増えている理由は何ですか。また未払い費用、預り金が増えているのはなぜですか。 2. 萩江崎加工場が報告に入っていますが、存在しているのですか。 3. 豊田物産の漬物部門の譲受で(株)たまがわの経営は改善しましたか。また、地域経済への貢献をどうみていますか。 4. (株)たまがわが、豊田物産加工場を取得して漬物を製造するという方針はどうなっていますか。 5. アグリKJとなぜ業務提携するのですか。その業務提携は、どこまで進んでいますか。どんな協議が行われていますか。		
3. プログラミング教育の現状はどうなっているか	1. 2020年2月にプログラミング教育の手引きが改定されました。萩市ではどんな取り組みをしていますか。その現状と課題は何ですか。 2. 今後どのような方針を持っていますか。		
4. 地方創成臨時交付金について	1. 地方創成臨時交付金の金額についてどれぐらいを予定しているか。 2. 市民の暮らしを支える事業としてどんな事業を想定しているか。		

質問順位	4	質問者	水津和男議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業改革のための継続的な取り組み	<p>1. 萩市水産課では持続可能な水産業の実現を目指したビジョンとブランド戦略および具体的な事業を決定したと聞いています。6月の定例会で漁業の課題問題点の取組の必要性を問いましたが正に私の意図するものです。今後展開の基本方針、基本施策、重点施策などについて問う。</p> <p>(1) 推進スケジュールを計画されていると思うが、プロジェクト化と短期集中型での取り組みを期待する。</p> <p>2. 一方で、今後資源確保が大変重要であると再三再四訴えてきました。栽培漁業、稚魚放流、中間育成など魚介類に応じた取り組みをしていく必要があります。併せて環境保護のための海藻類の育成も大変重要です。計画、実証試験、結果検証、再計画を繰り返し実施することについて問う。</p> <p>(1) 網での漁獲方法で、取れ過ぎたときに一時保管場所が無いことから廃棄処分を余儀なくされていると聞く。資源管理、有効利用の観点から再考願う。</p> <p>(2) さくらフグは下関へ配送をし、市場に出していると聞く。物流や一次保管を萩市内で確保することこそがブランド力を高めることに繋がり加工拠点化も考えられるが如何。</p> <p>(3) 田中市長におかれては、北浦3市と日本海に接する県へ同様のことを投げかけて欲しい。</p> <p>3. 売上高1,000万円以上稼げる漁業を目指すために何をすべきか成功事例を作っていく。このことが、移住定住に繋がると考える。オール漁業での取り組みが必要と考えるが如何。</p>		
2. 農業改革のための取組について	<p>1. 県主催の農村環境の未来を考える研修会に初めて出席した。中山間事業や多面的事業の事例発表などがあり参考になった。毎年開催されているとのこと。萩市でも同様に事例発表をしてお互いを高める必要があると考えるが如何。</p> <p>2. 水産同様に、関係の事業者が集まって課題や問題点を洗い出し一丸となって取り組みする必要性を強く感じている。取組が必要と考えるが如何。</p> <p>3. 売上高1,000万円以上稼げる農業を目指すために何</p>		

	<p>をすべきか成功事例を作っていく。このことが、移住定住に繋がると考える。オール農業での取り組みが必要と考えるが如何。</p>
<p>3. 里道(赤線)水路(青線)の維持管理について</p>	<p>1. 漁業集落地域は、殆どが対象となる。現実問題として、修理修復カ所が続いている。法定外公共物の取り扱いとして管理は市であっても(国所有もあり管理は県)町内会で使用しているものであれば町内会で対応願いたい(修復)との考えである。町内会の限られた予算の中で対応は難しいし町内の皆さんにこれ以上の負担を強いることは出来ない。また、修復内容によっては専門的な技術・知識が必要な場合がある。予算手当を含めて行政主体で対応すべきと考えるが如何。</p>

質問順位	5	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 総合経済対策について		1. 低所得者世帯への給付など年内の予算化に向け迅速な対応を 2. 重点支援地方交付金（推奨事業メニュー）を活用した支援について	
2. 医療・福祉対策の充実を		1. 子どものインフルエンザワクチン接種費用の支援を 2. 帯状疱疹ワクチン接種費用の支援を 3. オストミー支援用具の給付基準見直しを 4. 心身障がい者福祉タクシー利用券、リフト付きタクシー利用券の充実を	
3. 放課後児童クラブの体制充実を		1. 支援員の確保と働きやすい環境を 2. 作業療法士の配置で、配慮の必要な児童への支援を	

質問順位	6	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 小郡萩道路の別線バイパスの推進を	<p>1. 地域高規格道路である小郡萩道路について、お訊ねする。この小郡萩道路については、平成9年に大田絵堂道路が事業化、そして平成11年に美東大田道路が事業化され、その後、平成23年に本格的に供用開始となり、現在に至っている。その後、平成26年に絵堂萩道路の事業化が決定。現在、絵堂・明木間の約9kmについては、これまでの道路計画が完成4車線もしくは暫定2車線の整備計画だったところ、その道路機能を大きく譲歩し、完成2車線で令和10年の開通を目指して整備が進んでいるところである。</p> <p>一方、明木から萩IC間の約6kmについては、立体交差でもバイパス交差でもなく、一般道・現道活用で整備計画が進んでいる。</p> <p>田中市長においては、先の市長選において、この現道活用案について異を唱え、山陰自動車道に直接接続する「別線バイパス」案を訴え、当選され、今の立場にある。</p> <p>この市長の主張に対し、当萩市議会において「別線バイパス」案を退けるかのような論調が見受けられるが、私は、市長の「別線バイパス」案を支持するものである。</p> <p>その理由を以下に述べ、市長の所見を伺う。</p> <p>まず、萩市議会では、かつて道路特別委員会（略称）を設置し、山陰自動車および小郡萩道路他について、調査・研究そして要望活動を重ねてきた。この主な目的の一つは、ミッシングリンクの解消であった。</p> <p>このミッシングリンクの解消は、山口県の陰陽格差の是正に対して、大きな役割を担うものである。ご存じの通り、山口県内の地域高規格道路の代表例は、山口宇部道路である。</p> <p>山口宇部道路は、山口市朝田から中国自動車道の小郡JCTを経由し、小郡道路、山陽道の宇部下関線に直接アクセスできる機能を有する。</p> <p>山口宇部空港を利用する場合は、この道路を利用することも多いことから、その機能については、多くの市民も認めるところである。</p> <p>このように地域高規格道路は、他の自動車道と直接接続</p>		

することでその機能性を更に高めており、小郡萩道路についても、現道活用ではなく、山陰自動車道の萩 IC に直接接続することが強く求められている。

次に、小郡萩道路は「命の道」としての機能が求められているということである。現在、萩市では、中核病院の形成について、鋭意努力をされているが、この中核病院は主には2次救急病院であり、先の市政報告会で執行部から説明があったように、目指す方向性としては、決して大きな病院ではなく、あくまでも現在の2次救急医療を維持するための病院となる。よって、高度・先進医療は、引き続き他市の病院、例えば、萩医療圏で言えば、宇部市にある山口大学医学部病院や山口市にある日赤病院に依存せざるを得ない。

仮にドクターヘリの運用外である夜間に1分1秒を争う病気を発症した場合、道路網を使い、患者を搬送させなければならない。

その場合、明木・萩間は一般道よりも別線バイパス化された地域高規格道路の方が受益は大きいと判断している。

最後に、地域高規格道路が有する機能についても言及しておく。

そもそも地域高規格道路には、次の3つの機能のいずれかを満たすことが求められている。

1つめは、連携機能である。通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連帯強化により、地域集積圏の拡大を図るものである。

2つめに、交流機能があげられる。これは、高規格幹線道路を補完し物資の流通、人の交流の活発化を促し、地域集積圏間の交流を目指すものである。

3つめは、連結機能である。空港・港湾などの広域的交流拠点や地域開発拠点などと連結が求められている。

小郡萩道路における「別線バイパス」案については、まさにこの3つの機能を充足するものであり、引き続き、要望活動に力を入れて推進を頂きたい。また、実現の折には、現在の道の駅萩往還の移転開業も改めてお約束頂きたい。

<p>2. 御許町交差点の改良により、交通渋滞の緩和を</p>	<p>1. 御許町交差点の渋滞緩和について、お訊ねする。この件については、昨年12月定例会において、同様の質問を村谷議員がされている。その後も市民からの要望があることから、再度、お訊ねするものである。</p> <p>御許町交差点は、国道191号と県道萩三隅線と市道御許町唐樋線から形成される十字路交差点である。</p> <p>市道御許町唐樋線を西進する際、右折レーンがないことから、右折待ちの車が待機することにより、渋滞が発生するようである。萩税務署前の交差点が右折禁止であることも影響してか、萩市役所方面に進む場合は、どうしてもこの御許町交差点を右折するほかに迂回路がなく、交通量が集中する傾向にある。</p> <p>加えて、この御許町交差点の信号機は時差式信号機であり、時差の受益者は、県道萩三隅線から交差点に進入する車両である。そのため、市道御許町唐樋線から西進する車両は必然と待機時間が長くなり、交通渋滞に拍車をかけている状況である。</p> <p>次にこの交差点の危険性について言及する。市道御許町唐樋線は片側1車線であり、市道から御許町交差点に進入する場合、正対するのは県道の右折レーンである。この右折レーンに車両が多く待機している場合は、その影に隠れ、萩駅方面から直進してくる車に気づきにくく、交差点右折時に事故を誘発するリスクが極めて高い。</p> <p>については、村谷議員も主張されている通り、市道御許町唐樋線に右折レーンを設置できないか、お訊ねする。</p>
<p>3. 木間地区における指定緊急避難場所および携帯電話の不感地帯の解消について</p>	<p>1. 木間地区の指定緊急避難場所についてお訊ねする。木間地区における洪水・内水氾濫時および地震の際の避難場所は、旧木間小・中学校の体育館である。一方で、その周辺は、土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンに指定されており、実際の大雨時は、体育館の後背地から鉄砲水が出ることから、怖くて避難ができないとの声を地元住民から聞いている。については、この避難場所指定が適切であるかをお訊ねするとともに、適切でない場合は避難場所の再設定を要望するものである。</p> <p>次に、木間地区における携帯電話の不感地帯の解消について、お訊ねする。特に西木間地区において不感地帯が存在するとのことである。その状況を市は認識しているのか。認識をしていれば、どのように解消していくのか訊く。</p>

質問順位	7	質問者	岡崎隆志議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 分庁舎の新規建設は市民の理解を得られるか	1. 今後予定される本庁舎や市民館等の建て替えに関する全体計画が策定されていない中、突如浮上した8億円あまりの総事業費が予定される分庁舎の新規建設について、その検討プロセス等を問う。		
2. 少子化対策の効果は表れているか	1. 令和5年の出生数着地見込み数等について。 2. 合計特殊出生率の直近値と推移等について。		
3. むつみ演習場周辺の住民へ配慮を	1. 歳入の「国有資産等所在市町村交付金及び納付金」に含まれると聞く「むつみ演習場の利用料」にあたる交付金の内訳と用途について。 2. ヘリコプターの離着陸訓練の騒音等により負担を強いられている地元住民に配慮した事業の有無について。		

質問順位	8	質問者	齊藤真治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 買い物支援事業の拡充について(相島地区)	1. 相島地区の中山間地域買い物支援事業への販売回数など支援内容の拡充について問う。		
2. 椿東地区月見川にかかる橋の維持管理及び、昇降階段新設について	1. 椿東地区月見川にかかる橋の維持管理の現況について問う。 2. 椿東地区月見川内の昇降階段新設について問う。(河川一斉清掃等の河川内清掃への環境整備)		

質問順位	9	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 小中学校のいじめ、不登校、引きこもりについて	<p>1. 令和5年10月4日の読売新聞では、全国の小中高校と特別支援学校で2020年度に認知されたいじめの件数が前年度から1割強の68万1948件に上り、過去最高となったことが文部科学省の問題行動・不登校調査で分かった。いじめの重大事態も217件増え最多の923件だった。不登校の小中学生は最多の29万9048人に上り30万人に迫った。13年のいじめ防止対策推進法から10年が経過し学校現場でいじめの積極的な把握が進む一方重大な被害を防ぎきれていない現状が浮かんた。調査は、国公私立の小中高校などを対象に実施。いじめは、小学校55万1944件（前年度比5万1382件増）、中学校11万1404件（同1万3467件増）、特別支援学校3032件（同337件増）、でいずれも増えた。いじめの態様では、SNSなどを使った「ネットいじめ」も2万3920件（同2020件増）で過去最高だった。重大事態の4割弱（357件）は、深刻な被害が生じるまで、学校がいじめと捉えていなかった。不登校の小学生は10万5112人（前年度比2万3614人増）、中学生は19万3936人（同3万494人増）、ともに10年連続で増加。高校生は6万575人（同9590人増）だった。長期化するコロナ禍による生活リズムの乱れなどが影響したとみられる。小中学生の自殺者数は411人で前年度より43人増えたとの報道がありました。</p> <p>そこで、萩市の小中学生、特別支援学校がいじめ発見の件数、ネットいじめの件数、不登校の件数、重大事態の件数、昨年比もお聞きします。</p> <p>2. 報道で、文科省は、2022年度の問題行動を発表。小中学校での暴力行為は、過去最高の9万5426件で、前年度から1万8985件増えた。暴力行為の7割は児童、生徒同士によるものだった。学校別では小学校6万1455件、中学校2万9699件、高校4272件。いずれも増加傾向で、特に小学校では10年前（8296件）の7、4倍に急増した。増加の理由として、文科省は「いじめを積極的に認知する意識が学校に浸透し、暴力行為が見つかるケースが増えている」ことなどを挙げている。</p>		

	<p>萩市の現状をお聞きします。</p> <p>3. 令和5年10月16日の山口新聞では、山口県内の児童相談所と市町で2022年度中に対応し、虐待として認定した件数が1429件（速報値）に上り、法改正で市町が虐待の通告した05年度以降最多となったことが、県の取りまとめで分かった。一時保護した児童数も190人と過去5年間で最高だった。22年度は、県内に6か所（中央、岩国、周南、宇部、下関、萩）児相で688件（前年度比26件増）、と発表があったが萩市の現状をお聞きします。</p> <p>4. いじめ、不登校などが引きこもりに繋がる例が多くあると思いますが引きこもりの現状をお聞きします。</p>
<p>2. ふるさと納税について</p>	<p>1. 令和4年度萩市のふるさと納税は、1億4884万円、6804件全国順位932位、山口県では4位でした。お隣、長門市は、5億4562万9千円、21,053件全国順位408位、県内2位でした。全国を見ますと1位、3位、4位、がいずれも北海道で5位があの大阪泉佐野市です。全国2位が宮崎県都城市です。都城市のホームページを見ますと146億1600万円、1,004,337件です。急に伸びたのが、2014年10月からで、2014年4月からふるさと納税担当課を設置し市長が担当者に「ふるさと納税を変えなさい。寄付を集める制度ではなく対外的PRツールとしてふるさと納税を利用しなさい」と言われたそうです。市の担当者は、あらゆる産業、業者から幅広く返礼品を確保し多様さの都城市を売っていく。「公務員は、平等、公平を考えないと」と市長に提出。市長は、全てやり直せとチャブ台返しを食らったそうです。「都城と言えど何と何が都城か分りやすいPRが必要」と言われやり直し担当者は、肉と、焼酎に特化しようと考えたそうです。最初はかなりの他の業者からバッシング、電話等あったそうですがふるさと納税の増加により収まったそうです。萩市のふるさと納税ホームページを見ますと多種多様な物品が掲載されています。長門市を見ますとフグの刺身が、メインです。萩市といえど何なのかも一度思考することが必要だと思いますがお聞きします。</p>

2. ふるさと納税自販機をご存知だと思いますが、他市では、この自販機をゴルフ場、道の駅等に設置していると聞いています。例えば、栃木県鹿沼市のカントリークラブでは、令和4年12月運用開始したところ10日間で26件200万円を超えたそうです。ご存知のように栃木県ゴルフ場は東京の富裕層が来ますので一概にはいえませんが、例えば、道の駅に設置し、1万円ごとに3千円の商品券を発行して道の駅のお土産を買い物していただくなど、大変面白くと思いますがお聞きします。

質問順位	10	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 須佐図書館の今後について	<p>1. 夜間の開館についての経緯を聞く。(24時間開館時期は、いつからいつまで行っていたか。又、その後の状況は。)</p> <p>2. このアンケートの目的は、何か。利用度でのアンケートなら、コロナ期を考慮したものか。</p> <p>3. コロナ後の利用に対する仕掛け(取り組み)は行っているか。 日本で最初の24時間図書館と聞く。安易に廃止するのではなく、継続の努力が必要。アフターコロナでそれが見えない。具体的取り組みを聞く。(旧町の思いを、考えてほしい。特に日本初となれば地域の思いも強い。)</p> <p>4. アンケートの中のその他の意見としては、継続を望む意見が大半と聞くが、それをどのように反映させるか。</p> <p>5. 今回のアンケート結果と今後の対応をどう考えているか。</p>		
2. 豚熱に伴う移動禁止期間に対する市の特別処置の考えはないか	<p>1. 発生の現状を聞く。萩管内での影響を述べてください。</p> <p>2. 次から次へと発生した場合には、移動禁止期間がそれぞれ延びるのですか。</p> <p>3. 狩猟者への影響はどのようなことが発生しますか。</p> <p>4. 捕獲交付金等について、国・県・市の制度を述べてください。</p> <p>5. 狩猟を職としている市民への対応を如何に考えているかを聞く。例えば、特別処置として、移動禁止期間は、捕獲補助金の単価を增高させる等の考えはありませんか。</p>		
3. 带状疱疹防止のワクチン補助は	<p>1. 近隣市町村の補助の状況を聞く。</p> <p>2. 萩市の補助金への取り組みは如何に、考えを聞く。</p>		

質問順位	11	質問者	瀧口治昭議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. JR山陰本線の活用について	<p>1. 令和5年度の新年度予算に計上されていましたが、JR山陰本線（下関、益田間）利用促進事業について本年3月にも一般質問をしましたが、その時はまだ予算の承認も受けていない状況でもあり、これから事業として協議を重ねていくという回答であったと思います。予算も承認され8月10日には利用促進協議会の設立総会が開催されていますが、どの様な展開であったのか、今後の協議会の活動はどうなっていくのかを、お聞きします。</p> <p>既に前回の9月定例会で宮内議員からJRの利用促進について一般質問がされていますが、その後の進展等を含め重ねてお聞きします。利用者の減少が続いているとはいえ、萩市において通勤、通学をはじめ、観光にも重要な存在となる公共交通機関であるJR山陰本線です。将来的に廃止路線とならないように活用案を考えていくことが必要ではないでしょうか。協議会の中で議論していくのならば、萩市としての考えを、まず市内部で十分に検討してから、その場に臨む必要があると思いますが、今後、具体的な利用案や活用案について検討されていくのかお聞きします。</p>		
2. 公民館の今後の運営方針について	<p>1. 職員提案制度によって公民館運営の民間委託が採用されたと聞いていますが、委託経費と直接萩市の運営による場合の経費の差額によるメリットにより、市の経費節減につながるとして、この方法が採用されたものと推察しますが、委託受注者がいなければ、この方法は成り立ちません。改めて言うまでもありませんが、公民館を中心とした活動は、文化、学習、スポーツなど住民の生活に大きく関わる重要な存在です。</p> <p>新年度の予算編成もそろそろ協議されているころだと思えますが、今後の萩市の公民館に対する方針をお聞きします。</p>		

<p>3. 鳥獣害対策について</p>	<p>1. 鳥獣害対策について、相変わらず質問します。これも6月定例会で水津議員が聞かれています、重ねてお聞きします。</p> <p>以前、昨年6月の質問では集落単位での対応についてお聞きしたところ、その後、弥富地区において集落として取り組むようになったとお聞きしています。秋も終わりその成果はあったのでしょうか。</p> <p>また、今後は、中山間直接支払制度の集落に対して希望を聞いていくということでしたが、希望はあったのでしょうか。お聞きします。</p>
---------------------	--

質問順位	12	質問者	浅井朗太議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 中学校の部活動地域移行について	<p>1. 検討の進捗について</p> <p>(1) 部活動地域移行推進会議の実施実績（9月定例会質問以降）</p> <p>(2) 市内部の検討状況</p> <p>(3) 他自治体の実施状況や計画についての調査研究</p> <p>2. 実施状況について</p> <p>(1) 分野別・学校別の実施状況</p> <p>(2) 試行を含めた今後の実施計画</p> <p>3. 実施されたアンケート調査の結果の分析について</p> <p>(1) 分析に基づく地域移行実施時に重要な点と課題</p> <p>(2) アンケートを含む今後の調査の予定</p> <p>4. 今後の予定について</p> <p>(1) 施設・環境・交通アクセスなどのハード面の課題と解決</p> <p>(2) 実施方法・指導人材などのソフト面の課題と解決</p> <p>5. 地域移行に伴う学校教育における部活動の位置づけについて</p>		

質問順位	13	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市道潟港後小畑線、国道191号交差点について	1. 国道との交差点において、市道側の幅員が狭く、車両による出入りが難しいため、何らかの対応策を検討していただきたいと思いますがいかがですか。		
2. 不登校「校内居場所づくり」の拡充について	1. 文科省が公立小中学校の空き教室を利用して、不登校の児童生徒の学習指導を行う「校内教育支援センター」を6千校に新設するとのことですが、萩市の実情はどうですか。また、現在、不登校となっている生徒数とその原因は把握できていますか。		
3. インボイス制度の導入について	1. 10月1日よりインボイス制度が開始されました。萩市内における事業者のインボイス導入に伴う影響をどのように捕らえていますか。また、現在、1000万円以下の免税事業者が、市内にどれくらいあるか把握できていますか。		

質問順位	14	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市でおきた豚熱（トンコレラ）発生の対策について	1. 令和5年3月に萩市むつみ地域で豚熱（トンコレラ）の発生が確認されたことで、猪を捕獲されている猟友会員に対する萩市の対策についてお尋ねします。		
2. 田万川地域遠見団地造成地における太陽光発電設備設置について	1. 田万川地域遠見団地造成地における太陽光発電設備を設置するにあたり地元説明と議会への説明についてお尋ねします。		

質問順位	15	質問者	西中忍議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 必要な支援が届いていない方々へ積極的な支援ができないか	<p>1. 私はこれまで、何度も引きこもっている方や引きこもった経験がある方とその家族、また、様々な理由で周囲とコミュニケーションが取りづらい方々へ積極的な支援が必要なこと、また支援を行うに当たっては、しっかりと時間をかけ、当事者やその家族との人間関係を作ることが最重要だと訴えてきました。</p> <p>現在、市ではこのような方々を対象に、相談窓口の設置や講演会を開催するなど、徐々に事業を実施しています。</p> <p>しかし、このような方々は日々の生活で困りごとや心配ごとが多くあることから、市として直接的かつ積極的な支援を早急に届ける必要があると思っています。</p> <p>さらに、このような方々は、障がい手帳を有している方とそうではない方がいることから、これまで実施されてきた事業では、支援が必要な全ての方々へ必要な支援の提供が難しい状況だったのではないかと考えています。</p> <p>そこで、市として障がいの有無に関係なく、支援を必要としている全ての方々へ、必要な支援の提供ができる事業を実施する考えがないかお尋ねします。</p> <p>あわせて、これまで訴えている通り、人材の育成には時間がかかることから、早急に相談や訪問活動ができる人材育成に取り組む必要があると思いますが、どのように考えるかお尋ねします。</p>		
2. 給食費無償化の財源をどう考えるか	<p>1. 田中市長就任後、商品券を配布する事業や出産祝い金を増額する事業など金品を配布する事業を実施していますが、あわせて、小中学校の給食費を無償にする事業も実施しています。</p> <p>この給食費無償化は、中学校が大変に貴重な一般財源、今年度から始まった小学校は基金を活用と、同じ義務教育の給食費を無償にする事業なのに、財源が違うといういびつな状況になっています。</p> <p>また、今年度、創設し小学校の給食費無償の財源となっている基金は「学校給食基金」となっていることから、中</p>		

	<p>学校分も一般財源を使用せず、この基金を活用すべきではないかと考えています。</p> <p>そこで、同じ義務教育の小学校と中学校の給食費無償化を別の財源で事業実施する目的と理由、併せて、その効果についてお尋ねします。</p>
<p>3. 第3セクター(株) たまがわで行われた事業承継は正しかったのか</p>	<p>1. 現在、第3セクター(株) たまがわで行われた民間企業の事業承継については、100条委員会でその公平性や背景等の調査が継続していますが、このような状況の中、別の民間企業が田万川地域に漬物工場を新設するという情報が届きました。</p> <p>現在、100条委員会で調査対象になっている(株) たまがわが民間企業の事業を承継するために行われた協議については、議会へ全く報告がありませんでしたが、新たな民間企業との協議については、6月議会で報告があった(株) たまがわの事業計画の中で、食品衛生法上の問題を解決すべく業務提携に向けて協議を行うとありました。</p> <p>しかし、冷静に考えると、この業務提携を行うということは、(株) たまがわが自社で事業継続ができない事業を有償で民間企業から承継をしたということになり、このことも大きな問題ではないかと考えています。</p> <p>そこで、第3セクターを指導・監督する立場にある市長は、(株) たまがわが行った事業継承について、どのような見解を持っているかお尋ねします。</p>